

水鳥の住み分け

伊豆川

鳥は移動性が高いので鳥種毎に、餌のとりやすい環境へ移動して生活する。箱根での水鳥の主な越冬湖沼は芦ノ湖とイタリ池ですが、環境の違いで、住み分けしている。

イタリ池って？

仙石原のゴルフ場（箱根カントリー倶楽部）内の湿地原生林にあります。

芦ノ湖には約200羽の水鳥が越冬しますが、イタリ池はわずか約3haにもかかわらず約100羽も水鳥が越冬します。
一般立入り禁止

芦ノ湖

環境特性

- ① 岸が急傾斜
→水生植物帯がほぼ無い。
- ② きれいな水質（貧栄養）
→プランクトン少ない。
- ③ 小魚多い
- ④ 水草少ない

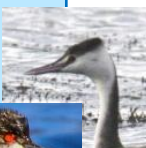
水際の芝草、水草食
・ヒドリガモ



底生動物食
・ホオジロガモ



潜水して魚食
・カイツブリ・カワウ
・カンムリカイツブリ
・ハジロカイツブリ



両方 (芦ノ湖とイタリ池 往復)

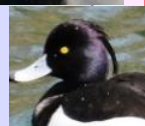
水際の水草食、
昼間は寝る
・マガモ
・カルガモ
・オカヨシガモ



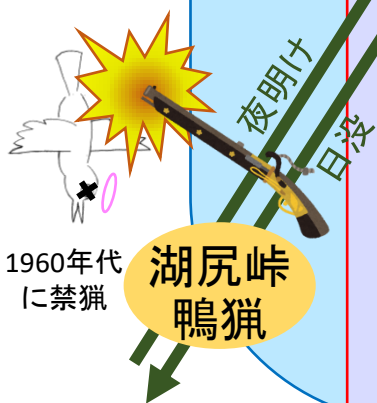
水際の水草も底生動物も食べる
・オオバン



底生動物食
・ホシハジロ
・キンクロハジロ



水際で魚食
・カワセミ
・サギ類



御殿場・足柄平野 夜間採餌

冬でも水溜りの残る水田(湿田)

稲刈り後の二番穂、
落ちもみを水と共に吸い込む。

乾田化工事で
餌場ほぼ消失



二番穂

稲の切り株

イタリ池

私有地のため一般立入り不可

表層プランクトン食
・ハシビロガモ



環境特性

- ① 古代の仙石原湖の水底
- ② 水深が浅い
- ③ プランクトン多い（富栄養）
- ④ 小魚少ない
- ⑤ 水草少ない

イタリ池で冬鳥バードウォッチング！
2025年2/2(日)、9(日)、11(火祝)

主要種の主な生息分布です。
伊豆川哲也、原田育生、川合英利らによる日本野鳥の会神奈川支部
水鳥カウント結果(2017～2024年)を元に伊豆川が考察。

★ネイチャーツアーin箱根カントリー倶楽部がスタート。
★普段は立入りできないイタリ池や湧水湿地原生林のツアー。
★ご案内は巻末。★募集詳細はビジターセンターhp掲載予定